



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月7日

上場会社名 株式会社インプレスホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 9479 URL <http://www.impressholdings.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 唐島 夏生  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役/執行役員CFO (氏名) 山手 章弘 (TEL) 03-6837-5000 (代)  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月12日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	6,566	8.1	408	138.3	445	129.2	344	△4.8
2019年3月期第2四半期	6,074	5.0	171	0.6	194	△12.4	361	108.9

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 362百万円(137.2%) 2019年3月期第2四半期 152百万円(△42.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	10.44	-
2019年3月期第2四半期	10.82	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	12,703	7,949	62.6	240.93
2019年3月期	12,551	7,690	61.3	233.02

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 7,949百万円 2019年3月期 7,689百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	-	-	-	3.00	3.00
2020年3月期	-	-	-	-	-
2020年3月期(予想)	-	-	-	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	13,150	2.4	350	67.9	450	54.1	350	△26.2

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.12「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	37,371,500株	2019年3月期	37,371,500株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2020年3月期2Q	4,376,399株	2019年3月期	4,374,059株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期2Q	32,996,741株	2019年3月期2Q	33,427,844株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	12
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	12
(セグメント情報等) .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

当社は、有価証券の取引等の規制に関する内閣府令第49条第2項に規定する特定上場会社等に該当し、インサイダー取引規制の重要事実の軽微基準については連結ベースの数値に基づいて判断することとなります。

事業セグメント区分	主要な事業区分		主要な事業内容	主要な会社
IT (IT分野に関するコンテンツ事業及びプラットフォーム事業)	コンテンツ事業	メディア &サービス	出版・電子出版、ネットメディア・サービス、ターゲットメディア等	㈱インプレス ㈱IAD 英普麗斯(北京)科技有限公司
		ソリューション	企業・自治体向けSP・PRツール及びWebサイト等の受託制作	
	プラットフォーム事業		出版流通プラットフォームの開発・運営等	
音楽 (音楽分野に関するコンテンツ事業及びプラットフォーム事業)	コンテンツ事業	メディア &サービス	出版・電子出版、ネットメディア・サービス等	㈱リットーミュージック
		ソリューション	企業・自治体向けSP・PRツール及びWebサイト等の受託制作	
	プラットフォーム事業		ECプラットフォームの開発・運営等	
デザイン (デザイン分野に関するコンテンツ事業)	コンテンツ事業	メディア &サービス	出版・電子出版、ネットメディア・サービス等	㈱エムディエヌコーポレーション
山岳・自然 (山岳・自然分野に関するコンテンツ事業)	コンテンツ事業	メディア &サービス	出版・電子出版、ネットメディア・サービス等	㈱山と溪谷社
		ソリューション	企業・自治体向けSP・PRツール及びWebサイト等の受託制作	
モバイルサービス (モバイル関連のコンテンツ事業及びプラットフォーム事業)	コンテンツ事業	メディア &サービス	出版・電子出版、ネットメディア・サービス等	㈱ICE
		ソリューション	Webサイト等の受託制作	
	プラットフォーム事業		電子コミックプラットフォームの開発・運営等	
その他			出版・電子出版、企業・自治体向けSP・PRツール及びWebサイト等の受託制作、出版流通プラットフォームの開発・運営等	㈱近代科学社 ㈱インプレスR&D ㈱クリエイターズギルド ㈱天夢人 Impress Business Development(同)
全社			グループ経営・財務戦略の策定 グループ各社の経営管理、販売・物流管理	㈱インプレスホールディングス(当社) ㈱Impress Professional Works

## (当第2四半期連結累計期間の業績全般の概況)

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものです。

また、文中の事業セグメントの売上高は、セグメント間の内部振替高を含んでおり、セグメント損益は、営業損益をベースとしております。

当第2四半期連結累計期間につきましては、雑誌事業の減収やアジア市場向けを中心に受託案件が減少したものの、音楽アーティスト関連やIT関連のムック本の販売や刊行点数の増加等による書籍販売の増収に加え、ネットメディアやターゲットメディアと連携したイベント・セミナー、広告収入が好調に推移し、コンテンツ事業の売上高は、前期（5,207百万円）に比べ6.8%増加し5,562百万円となりました。プラットフォーム事業につきましては、コンテンツホルダーとの協業による電子コミックプラットフォーム事業、著者向けPOD（プリントオンデマンド）出版プラットフォーム事業が拡大し、売上高が前期（943百万円）に比べ13.1%増加し、1,067百万円となりました。

これらの結果、売上高は、前年同期（6,074百万円）に比べ8.1%（492百万円）増加し、6,566百万円となりました。営業利益につきましては、増収と収益性の改善により、前年同期（171百万円）に比べ237百万円増加し、408百万円となりました。経常利益につきましては、前年同期（194百万円）に比べ251百万円増加し、445百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前期に発生した投資有価証券売却益の計上等の影響により、前年同期（361百万円）に比べ17百万円減少し、344百万円となりました。

## (セグメント別の概況)

## ① IT

ITセグメントにつきましては、アジア及び国内市場向け受託案件の減少や一部雑誌の季刊化の影響等により雑誌事業が減収となったものの、刊行点数の増加やパソコン/プログラミング関連の入門書等が好調だったことにより書籍及びムック販売が増加、主力のデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch」(<https://www.watch.impress.co.jp/>)の広告収入の増加に加え、ネットメディアやターゲットメディアと連携したイベント・セミナーも好調に推移したことで、コンテンツ事業の売上高は前期（2,397百万円）に比べ12.1%増加し、2,688百万円となりました。

また、プラットフォーム事業につきましては、パートナー出版社の電子書籍の販売が好調であったことにより、売上高は前期（74百万円）に比べ5.4%増加し、79百万円となりました。

以上により、「IT」の売上高は、前年同期（2,472百万円）比11.9%増の2,767百万円となりました。セグメント利益は、増収と収益性の改善により、前年同期（105百万円）と比べ134百万円増加し、239百万円となりました。

## ② 音楽

音楽セグメントにつきましては、刊行点数の減少等による書籍販売の減少や雑誌事業の減収、前期に音楽アーティスト関連の大型受託案件があった影響によりソリューションの売上高の減少はあったものの、音楽アーティスト関連のムック本の出荷が好調であったことにより、コンテンツ事業の売上高は前期（709百万円）に比べ9.3%増加し、775百万円となりました。

また、プラットフォーム事業につきましては、楽器マーケットプレイス「デジマート」(<https://www.digimart.net/>)における楽器店からの決済サービス収入の増加により、売上高は前期（138百万円）に比べ7.7%増加し、148百万円となりました。

以上により、「音楽」の売上高は、前年同期（847百万円）比9.0%増の924百万円となりました。セグメント利益では、増収と収益性の改善及び販売管理費の削減により、前年同期（34百万円の損失）と比べ45百万円増加し、11百万円となりました。

③ デザイン

デザインセグメントにつきましては、雑誌の休刊による雑誌事業の減収を、大型季節商品であるカレンダーの刊行点数増加による出荷増で補い、コンテンツ事業は増収となりました。

以上により、「デザイン」の売上高は、前年同期（456百万円）比2.1%増の466百万円となりました。セグメント利益では、増収と収益性の改善により、前年同期（21百万円）と比べ15百万円増加し、37百万円となりました。

④ 山岳・自然

山岳・自然セグメントにつきましては、電子書籍の販売の増加に加え、狩猟やキャンプ等を扱ったムック本の出荷が好調であったものの、前期の創刊1000号記念の影響等で雑誌事業が減収、また刊行遅れの影響等により書籍販売が減少し、コンテンツ事業は減収となりました。

以上により、「山岳・自然」の売上高は、前年同期（1,057百万円）比3.2%減の1,023百万円となりました。セグメント利益では、収益性の改善や販売管理費の削減により、前年同期（117百万円）と比べ21百万円増加し、139百万円となりました。

⑤ モバイルサービス

モバイルサービスセグメントにつきましては、新規コンテンツの投入の遅れにより電子書籍の販売が減少し、コンテンツ事業の売上高は前期（158百万円）と比べ14.9%減少し、134百万円となりました。

プラットフォーム事業につきましては、コンテンツホルダーとの協業によるデジタルコミック等の販売プラットフォームの増収により、売上高は前期（670百万円）と比べ13.1%増加し759百万円となりました。

以上により、「モバイルサービス」の売上高は、前年同期（828百万円）比7.8%増の893百万円となりました。セグメント利益では、人材強化に伴う人件費が増加したものの増収により、前年同期（92百万円）と比べ10百万円増加し、103百万円となりました。

⑥ その他

その他セグメントにつきましては、前期に行った(株)近代科学社の決算期変更による書籍販売減少の影響はあったものの、Web制作・運用等の受託案件の増加や著書向けPOD出版プラットフォームサービスの登録者数の拡大に加え、旅・鉄道関連書籍や書籍レーベル「立東舎」の書籍の販売が好調であったことにより、売上高は前年同期（508百万円）比9.4%増の556百万円となりました。セグメント利益では、増収と販売管理費の削減により、前年同期（9百万円の損失）と比べ27百万円増加し、18百万円となりました。

⑦ 全社

全社区分につきましては、純粋持株会社である当社と、グループの経営管理及び販売・物流管理機能を担う(株)Impress Professional Worksで構成されており、グループ会社からの配当、情報システム等の経営インフラの使用料及びグループ会社や出版社を中心とするパートナー会社の物流・販売管理に伴う手数料収入を売上高として計上し、経営インフラ等の運営に係る費用を負担しております。

全社区分の売上高は、グループ会社からの配当収入やグループ内手数料の増加等により、前年同期（676百万円）比16.6%増の788百万円となりました。セグメント利益では、人件費の増加はあったものの増収により、前年同期（41百万円の損失）と比べ51百万円増加し、10百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、売掛金の回収が進んだものの有利子負債の返済等により現金及び預金の増加は限定的でありましたが、季節変動要因により商品及び製品や仕掛品が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ151百万円増加し12,703百万円となりました。負債につきましては、有利子負債の返済等により、107百万円減少し4,753百万円となりました。純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により、258百万円増加し7,949百万円となりました。

自己資本は7,949百万円となり、自己資本比率は62.6%と前連結会計年度末(61.3%)と比べ1.3ポイントの増加となりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、季節変動要因によるたな卸資産の増加286百万円による資金の減少(前年同期比13百万円の増加)はあったものの、税金等調整前四半期純利益445百万円の計上(前年同期比17百万円の減少)や売上債権の回収による資金の増加540百万円(前年同期比157百万円の増加)、仕入債務が95百万円増加(前年同期比110百万円の増加)したことと等により、営業活動によるキャッシュ・フローは696百万円の資金を獲得しております。(前年同期比483百万円の増加)

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得等により、91百万円の資金が減少しております。なお、前年同期に発生した満期保有目的債券の償還や投資有価証券の売却による収入の影響により、前年同期と比べ大幅に減少しております。(前年同期比565百万円の減少)

財務活動によるキャッシュ・フローは、有利子負債の圧縮により115百万円の資金が減少(前年同期比148百万円の増加)し、加えて配当金の支払98百万円(前年同期比15百万円の減少)等により、215百万円の資金が減少しております。(前年同期比185百万円の増加)

以上により、当第2四半期連結会計期間末の資金残高は、前年同期末と比べ27百万円の資金が減少し、4,697百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間において、音楽アーティスト関連の大型ムック本の販売及びIT分野のメディアと連携したイベント・セミナーやデジタルメディア広告が好調に推移したことにより、2019年10月31日に業績予想を上方に修正しております。

なお、通期の連結業績予想につきましては、大型ムック本及びカレンダー・年賀状ムック等の大型季節商品の返品、受託案件の遅れなど当下半期に懸念される下振れリスクを勘案した予想となっております。

## 連結業績予想(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
2019年5月13日発表 予想(A)	6,350	210	240	180	5.45円
2019年10月31日発表 修正予想(B)	6,566	408	445	344	10.44円
増減額 (B-A)	216	198	205	164	—

## 連結業績予想(通期)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
2019年5月13日発表 予想(A)	13,100	250	350	270	8.18円
2019年10月31日発表 修正予想(B)	13,150	350	450	350	10.61円
増減額 (B-A)	50	100	100	80	—

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,312,452	4,697,156
受取手形及び売掛金	4,363,842	3,816,322
有価証券	100,000	300,000
商品及び製品	1,115,866	1,164,493
仕掛品	111,127	349,067
その他	376,187	422,937
返品債権特別勘定	△15,100	△22,100
貸倒引当金	△23,545	△46,761
流動資産合計	10,340,831	10,681,115
固定資産		
有形固定資産	392,828	405,582
無形固定資産		
ソフトウェア	145,014	147,170
その他	14,445	14,445
無形固定資産合計	159,460	161,615
投資その他の資産		
投資有価証券	891,972	718,506
破産更生債権等	43,779	—
繰延税金資産	293,374	257,691
その他	473,284	478,778
貸倒引当金	△43,779	—
投資その他の資産合計	1,658,631	1,454,976
固定資産合計	2,210,920	2,022,174
資産合計	12,551,751	12,703,290
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,397,248	1,569,159
短期借入金	350,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	185,651	114,253
未払法人税等	66,605	113,725
賞与引当金	204,840	146,615
返品調整引当金	172,406	162,841
その他	1,065,627	920,858
流動負債合計	3,442,378	3,377,453
固定負債		
長期借入金	137,500	93,750
退職給付に係る負債	1,128,985	1,165,073
長期末払金	104,242	104,242
繰延税金負債	45,874	11,412
その他	2,117	1,772
固定負債合計	1,418,719	1,376,250
負債合計	4,861,097	4,753,703



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,341,021	5,341,021
資本剰余金	1,667,914	1,667,861
利益剰余金	1,403,122	1,645,580
自己株式	△780,804	△781,132
株主資本合計	7,631,253	7,873,330
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	103,814	106,582
為替換算調整勘定	49,470	50,519
退職給付に係る調整累計額	△95,467	△80,845
その他の包括利益累計額合計	57,817	76,256
非支配株主持分	1,582	—
純資産合計	7,690,653	7,949,586
負債純資産合計	12,551,751	12,703,290

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	6,074,709	6,566,983
売上原価	3,717,877	3,972,636
売上総利益	2,356,831	2,594,346
返品調整引当金戻入額	—	2,565
返品調整引当金繰入額	14,736	—
差引売上総利益	2,342,095	2,596,912
販売費及び一般管理費	2,170,623	2,188,351
営業利益	171,472	408,560
営業外収益		
受取利息	267	749
受取配当金	1,691	835
持分法による投資利益	29,769	31,666
その他	4,102	6,799
営業外収益合計	35,829	40,050
営業外費用		
支払利息	2,968	2,120
為替差損	583	254
支払手数料	—	750
出資金運用損	6,104	—
その他	3,303	39
営業外費用合計	12,960	3,164
経常利益	194,341	445,446
特別利益		
投資有価証券売却益	254,199	—
新株予約権戻入益	14,704	—
特別利益合計	268,904	—
税金等調整前四半期純利益	463,245	445,446
法人税、住民税及び事業税	101,149	102,593
法人税等調整額	△418	△1,530
法人税等合計	100,731	101,063
四半期純利益	362,514	344,383
非支配株主に帰属する四半期純利益	793	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	361,721	344,383

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	362,514	344,383
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△222,004	2,768
為替換算調整勘定	△2,884	1,048
退職給付に係る調整額	15,363	14,622
その他の包括利益合計	△209,525	18,439
四半期包括利益	152,988	362,823
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	152,195	362,823
非支配株主に係る四半期包括利益	793	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	463,245	445,446
減価償却費	72,935	55,823
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	17,479	36,088
退職給付に係る調整累計額の増減額(△は減少)	15,781	16,152
賞与引当金の増減額(△は減少)	△35,052	△58,159
返品調整引当金の増減額(△は減少)	6,236	△9,565
返品債権特別勘定の増減額(△は減少)	8,500	7,000
貸倒引当金の増減額(△は減少)	11,105	△39,563
破産更生債権等の増減額(△は増加)	—	43,779
受取利息及び受取配当金	△1,958	△1,584
支払利息	2,968	2,120
持分法による投資損益(△は益)	△29,769	△31,666
為替差損益(△は益)	△207	△6
投資有価証券売却損益(△は益)	△254,199	—
新株予約権戻入益	△14,704	—
売上債権の増減額(△は増加)	383,285	540,815
たな卸資産の増減額(△は増加)	△300,292	△286,648
仕入債務の増減額(△は減少)	△15,638	95,312
長期未払金の増減額(△は減少)	3,122	—
その他	△39,884	△49,667
小計	292,952	765,675
利息及び配当金の受取額	21,540	21,050
利息の支払額	△2,888	△2,347
法人税等の還付額	2,179	304
法人税等の支払額	△100,190	△87,848
営業活動によるキャッシュ・フロー	213,594	696,833
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の償還による収入	300,000	—
有形固定資産の取得による支出	△9,963	△46,751
無形固定資産の取得による支出	△40,734	△26,777
投資有価証券の取得による支出	△300	△298
投資有価証券の売却による収入	263,285	—
関係会社株式の取得による支出	△24,500	△10,071
敷金及び保証金の差入による支出	△7,359	△5,956
敷金及び保証金の解約による収入	594	970
貸付金の回収による収入	258	—
その他	△7,518	△3,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	473,761	△91,885

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△150,000	—
長期借入金の返済による支出	△114,126	△115,148
自己株式の取得による支出	△53,787	△327
配当金の支払額	△82,711	△98,204
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△1,650
その他	△338	△345
財務活動によるキャッシュ・フロー	△400,964	△215,675
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,599	△379
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	283,791	388,894
現金及び現金同等物の期首残高	4,402,747	4,312,452
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	38,537	—
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△4,190
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,725,076	4,697,156

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)1	調整額 (注)3	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)2
	IT	音楽	デザイン	山岳・自然	モバイル サービス	計			
売上高	2,472,928	847,734	456,439	1,057,252	828,946	5,663,301	508,411	△97,004	6,074,709
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	105,929	△34,283	21,987	117,680	92,895	304,210	△9,086	△123,651	171,472

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版・電子出版、Webサイト等の受託制作及び出版流通プラットフォームの開発・運営等が含まれております。
2. セグメント利益又はセグメント損失は、調整を行い、連結損益計算書の営業利益と一致しております。
3. 調整額は以下のとおりであります。
- セグメント利益又はセグメント損失の調整額△123,651千円には、セグメント間の内部売上高の取引消去△97,004千円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△706,765千円、セグメント間の営業費用の取引消去680,118千円が含まれております。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)1	調整額 (注)3	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)2
	IT	音楽	デザイン	山岳・自然	モバイル サービス	計			
売上高	2,767,374	924,266	466,053	1,023,303	893,689	6,074,687	556,348	△64,052	6,566,983
セグメント利益	239,998	11,594	37,482	139,321	103,835	532,233	18,687	△142,360	408,560

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版・電子出版、Webサイト等の受託制作及び出版流通プラットフォームの開発・運営等が含まれております。
2. セグメント利益は、調整を行い、連結損益計算書の営業利益と一致しております。
3. 調整額は以下のとおりであります。
- セグメント利益の調整額△142,360千円には、セグメント間の内部売上高の取引消去△64,052千円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△768,858千円、セグメント間の営業費用の取引消去690,550千円が含まれております。